

ちゃ〜がんじゅう 沖縄!

～長寿世界一を復活させよう～

vol.11

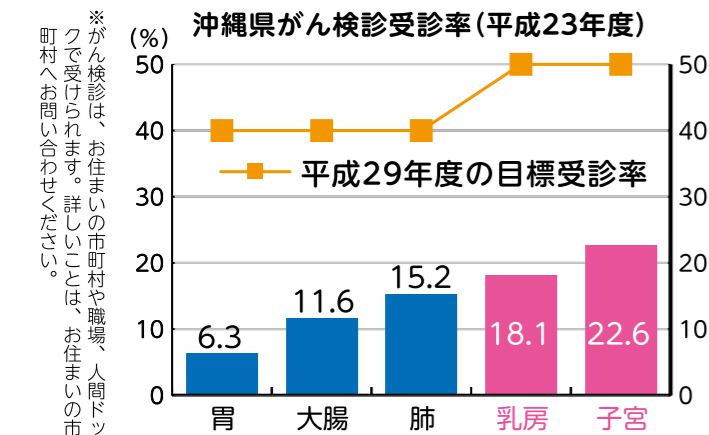
3月1日～8日は 女性の健康週間です!

知っておきたい女性の健康

で変化していくように、それぞれの時期に特有の健康トラブルがあります。女性が生涯を通じて健康に過ごすためには、女性ホルモンと女性特有のからだの仕組みについて理解しておくことが大切です。

がん検診を受けましょう

女性特有のがんである子宮頸がんは、20～30代の若い世代で増加し、乳がんは、40代から増加します。今は日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんできつくなる時代です。がんは、早期発見・早期治療をすれば高い確率で治る病気です。



子育てや仕事が忙しく、なかなか休みが取れない等の理由でがん検診を受けていない方が多く、本県のがん検診受診率は低い状況です(図参照)。自身自身と大切な人の笑顔のために定期的にがん検診を受けましょう。

ご存知ですか? 沖縄県女性健康支援センター

沖縄県では、思春期から更年期に至る女性のさまざまな悩みに関する相談に応じるため、平成26年4月1日に沖縄県女性健康支援センターを開設しました。助産師や保健師が電話による相談を受け、相談内容に応じて専門医との面談を行います。お気軽にご相談ください。

沖縄県女性健康支援センター

- 対象** 思春期から更年期の女性
- 相談内容** 妊娠・出産・思春期・更年期婦人科疾患・性感染症など
- 相談日** 月～土(年末年始、祝祭日は除く)
- 相談時間** 午後1時30分～4時30分
- 相談方法** 電話・メール・面接相談(※面接相談は予約制)
- 受託団体** 公益社団法人沖縄看護協会
- 電話番号** 098-888-1176
- メール** woman.h@oki-kango.or.jp

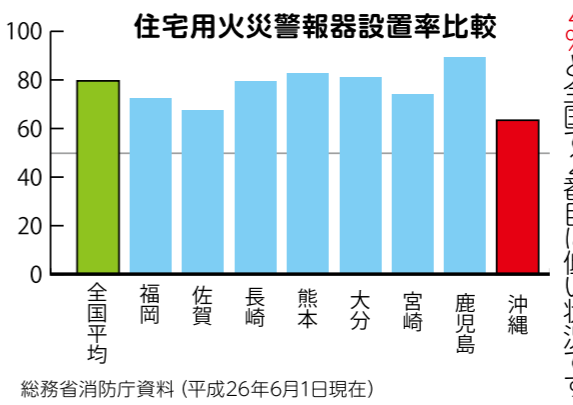
広告



住宅火災から大切な「命」を守るために「今」できることがあります。

建物火災での死者の多くは住宅での火災

建物火災の死者に占める住宅火災の死者の割合は約9割と非常に高くなっています。



住宅用火災警報器の設置はあなたの義務です

平成23年6月1日から全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられました。しかし、平成26年6月1日時点における沖縄県の設置率は63.4%と全国で一番低い状況です。

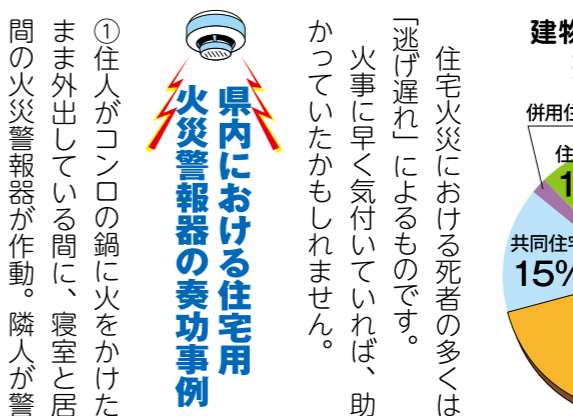
「住宅用火災警報器」は設置しましたか?

火事は一瞬にして大切な命や財産を奪います。家族、自分、家思い出さず全てを焼き尽くしてしまいます。いつ起こるか分からない住宅火災から大切な「命」を守るために、「住宅用火災警報器」を設置しましょう。

県内における住宅用火災警報器の奏功事例

① 住人がコンロの鍋に火をかけたまま外出している間に、寝室と居間の火災警報器が作動。隣人が警報音に気づき消防へ通報。火災に至らずに済んだ。

② 住人が鍋に火をかけたまま就寝。火災警報器の音で鍋から煙が出ていたのに気づき、あわてて火を止め、火災に至らなかった。



住宅火災の死者の多くは逃げ遅れ

住宅火災における死者の多くは「逃げ遅れ」によるものです。火事に早く気づいていれば、助かっていたかもしれません。

悪質な訪問販売などに注意!

県市町村の職員や消防署員が、「住宅用火災警報器」を訪問販売したり、特定の業者に商品販売を依頼することはありません。おかしいと思ったら、はつきり断りましょう。



家のどこに取り付けばいいの?

住宅用火災警報器の設置が必要な場所は「寝室」と「階段」です。※市町村の火災予防条例で「台所」などに義務付けているところもあります。

どこで買えばいいの?

ホームセンター、電器店、消防設備業者、ガス事業者などから購入できます。※値段は、メーカーや機種などによって異なりますが、1個数千円から購入できます。

住宅用火災警報器に関するお問い合わせ

- ・県内の各消防本部・消防署
- ・住宅用火災警報器相談室 ※お気軽にご相談ください。フリーダイヤル:0120-565-911

受付時間: 月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時(正午から午後1時までを除く) ※土曜日、日曜日及び祝祭日は休み